

誰とでも気軽に会話し、社交範囲を広く持ちたいタイプ

話し好き

Hot

Smart

社交軸

本音軸

思慮深い

本音を探るタイプ

オープン

いつでも本音で話すタイプ

Warm

Cool

おとなしめ

それほど多弁ではなく、適度な量の会話を楽しむタイプ

Step 1

自分が周囲からどう見られているかは考えずに、あくまで自分が感じる通りに答えてください。

		A	B
Q1	悩みを人に話すことはあまりない	はい	いいえ
Q2	自分の生い立ちやこれまでの体験を人に話すことはめったにない	はい	いいえ
Q3	自分をあまりさらけ出して付き合わないほうだ	はい	いいえ
Q4	お互いのプライバシーにまで踏み込む話は好きでない	はい	いいえ
Q5	内面的な話をあまりしないほうだ	はい	いいえ
Q6	自分の性格は人から見て分かりやすいほうではないと思う	はい	いいえ
Q7	思ったことを、言わないままできていることがよくある	はい	いいえ
		C	D
Q8	よく知らない人と話すときはとても緊張する	はい	いいえ
Q9	初対面の人とはすぐに打ち解けてしゃべらないほうだ	はい	いいえ
Q10	必要なことは言えるが、用件が終わると喋ることがなくなってしまう	はい	いいえ
Q11	パーティーなど大勢が集まる会が苦手だ	はい	いいえ
Q12	新しい人と知りあうのが億劫だ	はい	いいえ

Step 2

Aの数	Bの数
-----	-----

Cの数	Dの数
-----	-----

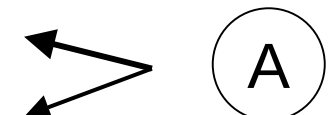
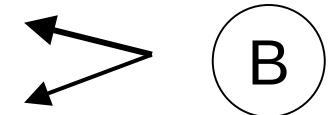
Step 3

わたしのタイプは

CとDが多かったほう
を選択

AとBが多かった
ほうを選択

Hot	←	D
Warm	←	C
Smart	←	D
Cool	←	C



わたしのコミュニケーションの特徴は？

わたしは

Hot

- ・明るく社交的
- ・誰とでも話します。
- ・開けっぴろげで自分の秘密や恋愛の話なども気にすることなくしゃべってしまいます。
- ・いつでも本音でぶつかるため、もめ事も多いです。
- ・しかし、激しい議論の中で新しい戦友（と書いてトモと読む）を見つけたりする熱くなったりとしたコミュニケーションを好みます。
- ・「友情」とか「ソウル」とか「ラブ」とか大好物
- ・おせっかいで干渉的なことを言ったり、自分の話ばかりして、時にうっとうしがられたりもします。

わたしは

Smart

- ・よくしゃべり、よく笑う、愉快な人
- ・周囲に対し、気を使ったりするのがうまいので誰とでも仲良くなるのかと思いきや、自分のプライベートな話をするのは意外に好きではなかったりして相手に不意にココロの壁を感じさせます。
- ・べったり付き合う友達関係を好まずヒトに相談事をすることもあまりありません。
- ・会話は楽しいのが一番で、もめ事を嫌ったり、激しくまくしたてるような人の発言を嫌います。
- ・だからあまりヒトのプライベートにもハナをつっこむようなところがなく、仲良くなってからもなにかまだ秘密があるような・・・
- ・そんなミステリアスな印象をあわせ持ちます。

わたしは

Warm

- ・正直で隠し事がなく、とっつきやすい印象
- ・うわべだけの会話、社交辞令がきらいでおべんちゃらは言いません。
- ・自分では口下手と思っているフシがあり、パーティーや大人数が集まる社交の場はどうも居心地が悪く感じようです。
- ・逆に少人数にいるときは語らうことを好みます。特に二人きりになると、普段は重い口も開きつい「語ってしまう」クセがあるようです。
- ・むしろ語りたい、いや語らせて。ってかんじ。
- ・しかし、言いたいことがあればあるほどなかなか話がまつまらなかったりして。「うーんいいや。うまく言えない」と諦めてしまったりします。
- ・徐々に親交を深めていくタイプ。初対面でいきなり友達！という態度はちょっと戸惑ってしまうかも。

わたしは

Cool

- ・私は私、ヒトはヒト。「みんなと同じ」であることに価値を感じず、自分の個性／信念に基づいて行動します。ある意味、オトナ。
- ・そんな風に見られないかもしれませんが、実は、意外に頑固な一面もあります。
- ・よくしゃべる相手には聞き役、社交が必要なときには当たり障りのない話と相手に応じたコミュニケーションをすんなりと操ることができます。
- ・こうしたスムーズなコミュニケーションも「ヒトと自分は別なモノ」とわりきれているからこそ。
- ・周りのヒトが反論や批判など強い意見を言っても、心の中ではそれほど動じません。
- ・もめ事も少なく、さらりと会話をこなすタイプです。

- Question : クラス替えがありました。今日は、初めてクラスの人たちに会う日です。
知っている人は、一人か二人しかいません。さて、あなたはどんな気持ちになりますか？またどんな行動をとりますか？その理由はなんですか？
枠の中に、思いついたことを簡単に書き出してみてください。

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

わたしは
Hot

● あなたのくせが丁度良い場合

- ・自分のセールスポイントがちゃんと伝わっている
- ・すばやく相手とうち解け、本音で話しやすいムードができている
- ・あなたの熱意が相手に理解してもらえる

● あなたのくせが強すぎる場合

言葉の勢いがとまらず、自分の言いたいことばかり、ついつい話し過ぎてしまった。そんなことはありませんか？ 相手によっては口論になったり、聞いてくれているようで、顔はアキアキしている。そんな時は要注意！「自分のこと中心に考えるワガママなヤツ」や「なんだか頑固で扱いづらいヤツ」と思われているかも知れません。

● こんな工夫があなたのコミュニケーションを助けます

本来、誠意や熱意はしっかり伝わるタイプなのです。言葉で発しなくても、目や手振りで語っていることも。とにかく心のボリュームはしぼり気味を心がけると良いでしょう。

面接の場面では

- ・話をコンパクトにまとめる。
- ・ちょっと控えめに言ってみる。

そんな工夫が効果的です。

もちろん、本来あなたが持つ素直さや、情熱を隠してしまう必要はありません。相手が気さくに話すタイプなら、あなたもリラックスして話すといいでしょう。

但し、話は短めに。面接は限られた時間しかないので、本当に言いたいことは一つか二つのほうが、相手にも伝わりやすいのです。面接は『品さだめ』という厳しい場面でもあることをくれぐれもお忘れなく。

わたしは
Warm

● あなたのくせが丁度良い場合

- ・聞かれたことを素直に答え、誠実な印象を持ってもらえる
- ・人当たりの良い人だと思ってもらえる
- ・周りの人とうまくやっていける協調的な人だと思ってもらえる

● あなたのくせが強すぎる場合

あなたは自分にウソをつくことが嫌いです。相手の質問にいいかげんに答えることができないので、自分にとって難しい質問や、悩んでしまう質問に対して、スムーズに答えられないときがあります。言いたいことが多ければ多いほど「アウー」な状態になってしまい、結局相手に「？」な印象を持たれることも。

「要領の悪そうなヤツだなー」という大誤解はあなたにとって、最も避けるべき状態です。

● こんな工夫があなたのコミュニケーションを助けます

会話のキレこそがあなたに必要な必殺のスパイス。

時には

- ・「わかりません」
- ・「申し訳ありませんが、うまく答えられません」

と、悩むくらいなら一旦ことわり、考える時間をもらうくらいのほうがいいのです。あらかじめ大事な質問や聞かれそうな質問への答えを準備しておくといいでしょう。結論から先に話すように工夫するのもグッド。あなたのコミュニケーション・スタイルは本来、感じがいいものなので、スパッと言い切っても意外に失礼にはならないものです。とはいえ、なんでも「わかりません」ではカッコが付きませんね。日頃から物事を簡潔に話す訓練をすれば、あなたの魅力はぐっと上がります。

「あなたの恋人のいいところを30文字以内で答えて！」みたいな遊びもその訓練のひとつ。

わたしは
Smart

● あなたのくせが丁度良い場合

- ・初めてあったのに会話が弾む
- ・リラックスし、和やかなムードができる
- ・会話のセンスがよく、社交的な印象を持ってもらえる

● あなたのくせが強すぎる場合

あなたは会話が上手です。しかし時に「上手すぎてしまう」ことで相手の気持ちを曇らせていることを意外にご存知ないのでは？相手のペースや話題に合わせると、場は和やかに進みますが、ひっかかりのない会話になりがちです。そうすると相手は「あれ？この人、ホントのところはどう思ってるんだろう？」と心配になります。いったん本音が見えないと思われる、せっかくの感じのいい会話もどんどん不信のタネに。「計算じゃないの？」「やる気が感じられないなあ」という心ない感想だけは、絶対に避けたいものです。

● こんな工夫があなたのコミュニケーションを助けます

あなたがアピールすべきは自分の「こだわり」です。全体的にソツなくこなすことが出来るあなたは、面接場面で印象薄になりがち。感じはいいのです。最後にひとつ、インパクトを残していきましょう！

- ・「その会社を選んだ理由」
- ・「仕事でこだわりたいこと」

なんでもいいです。印象少なく終わりそうならば「私からも質問、いいですか？」と話を膨らませたり、感情面（楽しかった、寂しかったなど）についても話したり、あなたならではのこだわりをアピールしましょう。そのタイミングや空気を読むのは、あなたの得意技のハズです。

わたしは
Cool

●あなたのくせが丁度良い場合

- ・どんな相手、どんな質問でもあわてず冷静に答えることが出来る
- ・会話はコンパクトで確実。誠実でクレバーな印象を持ってもらえる
- ・控えめで大人っぽい印象を持ってもらえる

●あなたのくせが強すぎる場合

あなたはの会話は実に大人です。場をわきまえており、質問にもきちんと答えます。但し、遊び心にあふれた人から見れば、やや面白みに欠け、冷めた印象に見られることも。面接は「選考」でもあり、「人と人の出会い」でもあります。知りたいのはあなたの能力だけではなく、人となり、思うこと、夢。そういったものも選ぶ基準になりうるのです。ソツなく答えてあとは結果を待つ。それではいつまでたっても補欠当選。そんなことになりかねません。

●こんな工夫があなたのコミュニケーションを助けます

あなたは、相手があなたについてもっと知りたい！と興味を持っていることを意識して面接に望めば魅力度があがります。質問に答えるだけでなく、あなたの性格、考え方、人となりをもっと伝えられるとベター。無駄話が多くあまり好きでないあなたには、ちょっと苦手なリクエストかも知れませんが、くだらなくとも会話する必要はありません。

- ・自己紹介の書類や作品など、自分の力や考えが伝わるアイテムを持っていく
- ・「はい、いいえ」と答えるだけでなく、その理由となる具体的なエピソード（体験・その時思ったことや感じたこと）を加えてみる
- ・なにか興味のあることを逆質問する

などが効果的。特に思いつかなければ、最後に「冷めたように見られることも多いのですが、非常に興味のある仕事で、とてもやりたいと思っていますので、よろしくお願い致します。」というようなコメントを置いてくるのもいいでしょう。あなたの印象の幅を広げてくれるはずです。